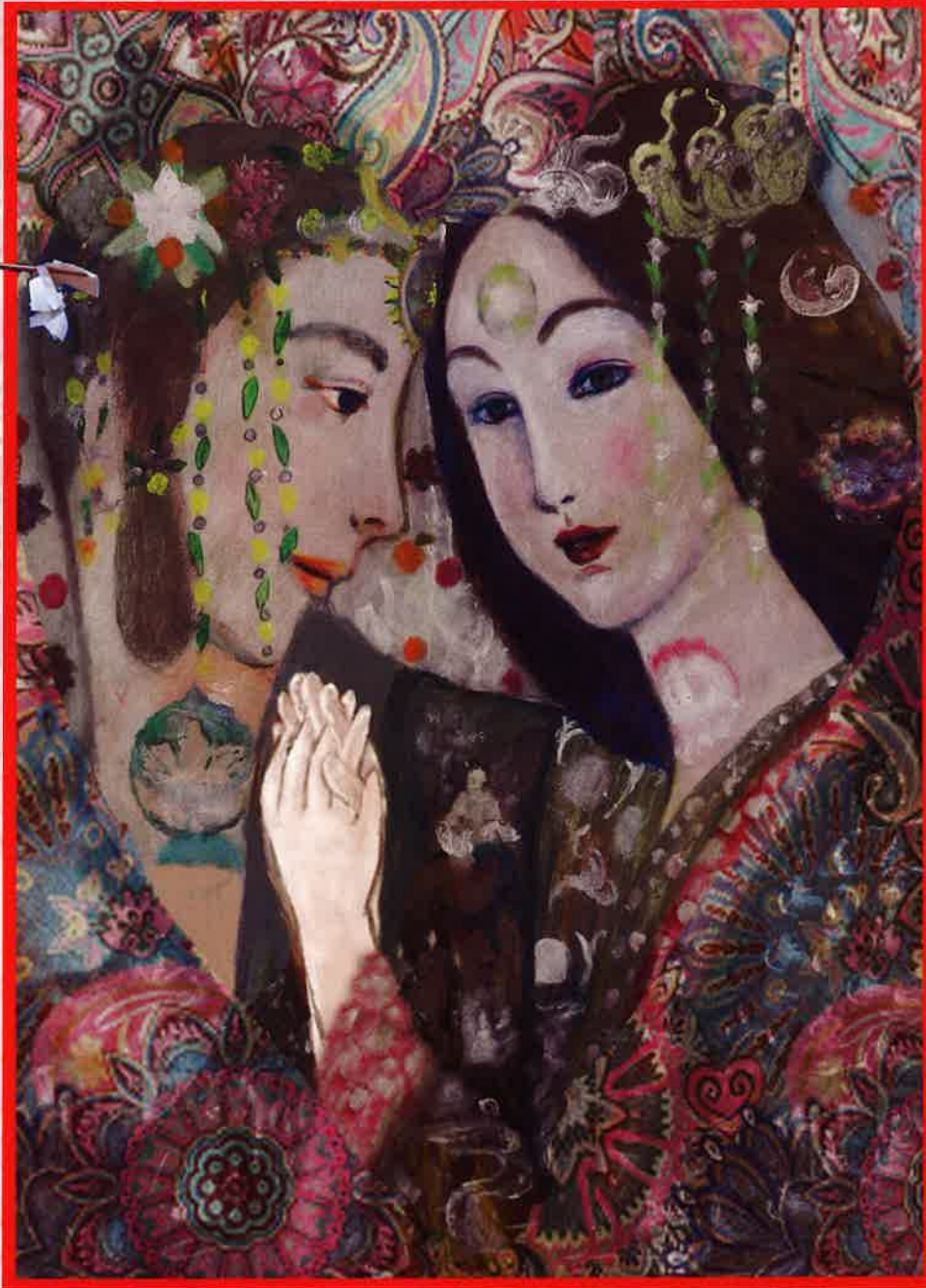


“備中神楽 × 民族音楽” 舞と音の融合フェスタ

クロスカルチャー KAGURA フェスタ

2020年2月15日(土曜日) 開場 17:30 開演 18:00~20:00 令和元年度岡山県備中県民局提案型協働事業



場所 倉敷市芸文館アイシアター 〒710-0046 岡山県倉敷市中央 1-18-1

入場料 前売り 大人¥2,000 中学生以下¥500 / 当日 大人¥2,500 中学生以下¥1,000

〈チケット取扱所〉

倉敷市芸文館 Tel 086-434-0400 9:00~17:00 (水曜休館)

アルスクらしきチケットセンター Tel 086-434-0010

平日 9:00~17:00 (土・日・祝定休日)

主催：NPO 法人かなぎ 代表 今野友紀 (このゆき)

共催：岡山県備中県民局 後援：吉備学会 倉敷市 倉敷市教育委員会 山陽新聞社



検索 **NPO 法人かなぎ** <http://www.chimichi.org>



「クロスカルチャー」
KAGURAフェスタ

備中神楽は今まで同じ形で受け継がれてきた訳ではなく、時代とともに変化しながら継承されて来ました。地球の繁栄を願う先祖の逞しくも温かな精神性を重んじながら、今を生きる私達が備中神楽をどの様に表現していくのか、その新たな取り組みが今回のクロスカルチャー神楽フェスタです。備中神楽と民族音楽の融合した舞台をお楽しみ下さい。

温故知新がキーワードです。

NPO 法人

かんなぎ

代表 今野 友紀
(こんの ゆき)



「備中神楽」

備中地方では古来より荒神の鎮魂を願う荒神神楽が舞われてきました。文化文政年間に岡山県高梁市出身の神官で国学者の西林国橋が、古事記、日本書記、古今和歌集をもとに能、狂言、歌舞伎を取り入れた神代神楽が江戸時代後期に合わさり現代の備中神楽となりました。地域の人々に郷土芸能として今日まで愛されています。

一九七九年二月二十四日に国の重要無形民俗文化財に指定されました。

「演目」

一、榊舞(さかきまい)

その場に集う人々、その他一切を清める為に舞う。巫舞(かんなぎまい)と呼ばれる古来からの神事舞。

二、導き舞(みちびきまい)

猿田彦命の由来出来事を説明する舞。

三、猿田彦命の舞(さるたひこのみことのみ)

天孫降臨の際に瓊瓊杵尊(ににぎのみこと)を先導し邪魔外道を払う舞。

休憩 十五分

四、大国主命(おおくにぬしのみこと)

国造りの神で、出雲大社の御祭神の舞。舞の後に一粒万倍に皆さんに福が授かるよう福の種をまきます。

五、大蛇退治(おろちたいじ)

素戔嗚尊(すさのおのみこと)神が、契り(結婚)を結んだ奇稲田姫(くしなだひめ)を助けるために、八岐大蛇(やまたのおろち)を退治する。

岡山在住のトライバルミュージシャン達

岩本象一 ドラム ガムラン

2005〜8年

インドネシア国立芸術大学ジャカルタ校にて伝統音楽を学ぶ。帰国後ジャワガムラン教室を開校。ワークショップや演奏活動を行う。



コイケ龍一 カリンバ

パーカッション

二十歳タンザニア国立芸術大学で伝統音楽と舞踏を学ぶ。帰国後、演奏活動とカリンバ制作を行う。



美作市に「c a f e &

ka l i m b a
ホシメグリ」オープン。

ハブヒロシ

遊鼓(自作太鼓)

インドネシア国立芸術大学にてガムラン楽器演奏研修後、セネガルの人間国宝ドウドウ・ジャエ・ローズ・ファミリーのもとでサバールドラムの研修後、世界各の民俗音楽を学ぶ。



アルバムCD「長蔵音頭」発売。

指定民俗文化財 備中神楽 重要指定民俗文化財 備中

